地域社会との調和から、
環境の輪がさらに広がっていきます。

甲府工場では、山梨県の「環境首都構想」のもと、つぎつぎに成果をあげています。

社内の垣根を超えて、地域と共生していかなければ、環境調和の輪は広がりません。そのために横河電機の各拠点では、地域との積極的な交流による環境保全を進めています。例えば、横河電機の甲府工場。山梨県の首都圏整備計画に基づいて開設された母国工業団地の一角にあるこの工場では、団地内の各工場と団結し、ゼロエミッションを指向した最新のリサイクル・システムを構築中です。紙類の共同リサイクルと再生トイレットペーパー共同購入、廃プラ・木屑・一般ごみのセメント焼成炉用固形燃料化、生ゴミのコンポスト化と近隣農家への堆肥提供など、さまざまな循環型システムを共同で実用化しています。

甲府工場

本社工場では、武蔵野市と一体となって環境の基本プランを作成中です。

構内緑化もみずみずしい横河電機の本社工場は、武蔵野市の環境基本計画策定に事業者代表として参画。環境共生型のまち「エコシティー武蔵野」をめざして、「地球環境時代」に対応した新しい環境施策の方向性を探っていこうと邁進しています。また、本社工場では民間企業ではじめての防災型太陽光発電システムを設置し、災害等による停電時に夜間照明・通信・井戸揚水ポンプ電源を武蔵野市に提供する防災協定も結んでいます。本社工場では、社会科見学の場として、生産設備や環境設備を近隣小学校の子供たちに開放。近隣には、子供たちが立ち入り、遊べる小緑地公園も提供されています。

小学生の社会科見学風景

緑化された構内

私たちの星だから。これまでも、これからも、横河電機は全社一丸です。

「地球は青かった」といったのは、宇宙飛行士のガガーリンでした。その星が、ずっと輝いていけるように、横河電機は、ひとつ、ひとつ、できることからはじめています。